



株式会社 ID / 暖炉家

山梨県富士吉田市上吉田東 4 丁目 5-11
URL : <http://www.danroya-id.com>

暖炉や薪ストーブが作り出す「火の温もり」を届けたい



代表取締役
岡本 瞬

1979 年の創業から 40 年以上にわたり、暖炉・薪ストーブを軸に事業を展開してきた『暖炉家』。運営会社『ID』を経営する岡本社長は、同事業の三代目だ。薪と炎が織りなす「火の温もり」を多くの人々に届けるべく、日々奮闘を続けている。本日は、島崎俊郎氏が社長にインタビュー。暖炉・薪ストーブの魅力について伺った。

—とてもお洒落で温かみのある薪ストーブです！ 私もこういう暖炉が家にある暮らしは憧れますよ。

ありがとうございます！ この他にも当社では様々なタイプの暖炉・薪ストーブを取り扱っています。既存の住宅に後付けて設置でき、当社では販売・施工からアフターサービスまで一貫して承っていますので、多くの方に暖炉・薪ストーブの魅力を知っていただきたいですね。

—岡本社長がこの事業を始められたきっかけは何だったのですか。

元々この『暖炉家』は、私の叔父が 1979 年に創業した事業なんです。当時はまだ日本に暖炉がほとんどない時代

で、あったとしても壁に内蔵されるタイプの「ビルトイン暖炉」が一般的でした。今のように手軽に暖炉を楽しめる時代ではありませんでしたが、叔父は暖炉が好きでこの事業を始めたようですね。今でこそ暖炉・薪ストーブの代理店は全国に 100 社以上ありますが、創業当時は 20 社ほどしかなく、叔父は全国を飛び回っていました。私も高校時代に手伝いをしたこともあったのですが、まさか自分が継ぐとは思ってもみなかったです。

—確かにお父様ならまだしも、叔父様の事業となれば後継者になるとは思わな

はい。それで高校卒業後は、全く異な

Column リモート化とキャンプブームで見直される“暖炉の魅力”



▼昨今のコロナ禍によってリモートワークが広く浸透した。最近では東京の会社に勤める人々の間で、都外へ移住するケースも増えているという。中でも山梨・長野の別荘地は、東京からも近いという好立地によって人気を集めている。リモートワークとなれば当然、家の中にいる時間も増える。そこに暖炉・薪ストーブがあれば、生活の質も大いに上がるというものだ。最近では「暖炉家」にも、移住してきたお客様からの依頼が増えつつある。

▼近年のキャンプブームも、暖炉・薪ストーブ業界にとっては追い風だ。自然に癒されたいという機運の高まりによって、薪割りや炎を魅力的に感じる人も増えてきた。現代のストレス社会にあって、薪や炎が持つ人々の心を癒す力が見直されつつあるのかもしれない。

▼「暖炉家」では薪ストーブの豊富なラインナップを取り揃えている。アンティークからモダンまで、デザインもサイズも様々だ。それらを眺めながら、薪ストーブのある生活を一度検討してみたいかだろうか。

る業界ですが電力関係の会社に就職し、電柱に登って工事をする職に就いていたんです。28 歳まで 10 年間、その会社に勤めていました。しかし、その間に叔父が他界し、跡を継いだのが私の父だったんです。薪ストーブには煙突が必要になるので、天井に穴を空ける工事があったりして、設計図を読めないと話になりません。父は元々大工をしていたので、跡を継ぐことになったのだと思います。—なるほど。それで社長も後継者として、こちらに加わられたと。

はい。前職も安定した仕事ではあったのですが、私自身も暖炉や薪ストーブに興味があり、思い切ってトライしてみることにしました。そこからもう 10 年になりますね。父から大工的な技術を教わり、経験を積んで、この度代替わりをすることになりました。今も父には仕事を手伝ってもらっています。

—異業種から移ってこれ、いざこのお仕事を始めてみて、いかがでしたか。

大きなやりがいを感じましたね。前職ではお客様に接するという機会がありませんでしたが、この仕事は直接お客様と接することになります。最初にお宅の現場調査をして、お見積もりやご契約をして、現場で施工をして。施工が終われば実際に火を付ける「火入れ式」というものを行い、その場で取り扱いについてご説明もさせていただきます。そして施工の 1 年後などにもメンテナンスでお伺いします。そうした中で「温かいね」「頼んで良かったよ」とお客様に言ってくれた時は本当に嬉しいですね。お客様の笑顔を見られた時、喜んでいただけた時が、この仕事をしていて一番やりがいを感じる瞬間です。

—薪ストーブが家にやってきたら、きっと皆さん笑顔になれることでしょ

うね。ただ、暖炉や薪ストーブは高級なイメージもあります。なかなか設置されるお客様は多くないのでは？

一般住宅だと全てのお宅にというのは難しいかもしれませんが、実はこの辺りは別荘地なんです。冬は冷える地域でもありますので、この地域の別荘にはほとんど暖炉や薪ストーブが置かれていますね。また、かつての「ビルトイン暖炉」に比べて、今はもっと価格も安くなっており、手軽に設置できる薪ストーブが増えています。サイズも様々で、省スペースで置ける薪ストーブもあるんですよ。昔ほど「高級」というイメージはなくなっていますし、幅広いお客様にお楽しみいただけていると思います。

—手軽に取り付けられるのは良いですね！ これも素人質問なのですが、安全性については問題ないのでしょうか。

火を扱うので「怖い」「不安」といったイメージをお持ちの方もおられますが、当然正しくお使いいただければ安全ですし、取り扱いも簡単です。薪を割ってくべる作業がありますが、そこも事前にしっかりとご説明させていただきます。電気やガスのストーブとの大きな違いは、薪の種類によって燃え方が違ってくるところです。薪の割り方や状態次第で、時には火が付きにくい時もある

りますが、それも含めて楽しんでいただければ（笑）。その分、薪の炎ならではの不思議な魅力があります。

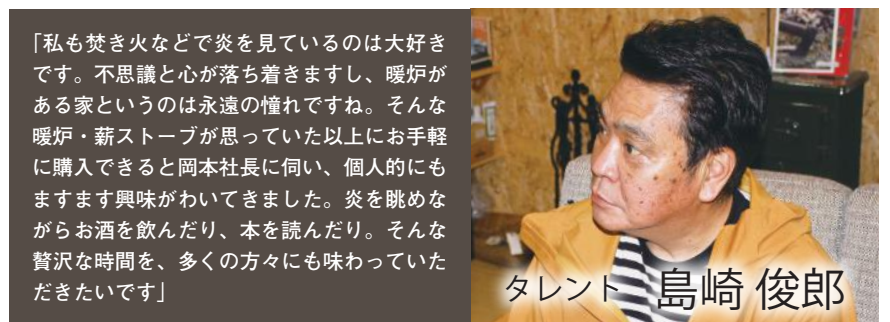
—確かに、焚き火などの炎もずっと見ていられますね。

ええ。あとは家の中が煙たくなるのではないかと心配する方もいらっしゃいますが、煙突があるので煙が充満することはありません。排ガス基準をクリアしている商品なので、煙突から出る煙もクリーンな排気になっていて、環境にも優しいんですよ。

—環境への配慮まで！ そういった情報をもっと広まっていけば、さらにニーズも高まっていきそうです。では最後に、今後の展望をお聞かせ下さい。

今は別荘のお客様がメインですが、今後は地元一般住宅のお客様にもアプローチし、暖炉や薪ストーブならではの「火の温もり」を広く知っていただければと思っています。暖炉や薪ストーブがある家とない家とは、温かさが全然違ってきます。薪と炎がある暮らしは、心の面でも豊かさやゆとりを感じることができます。当社ではショールームも設けておりますので、多くの方々に暖炉・薪ストーブの魅力を体感していただきたいです！

(2021 年 6 月取材)



タレント 島崎 俊郎

「私も焚き火などで炎を見ているのは大好きです。不思議と心が落ち着きますし、暖炉がある家というのは永遠の憧れですね。そんな暖炉・薪ストーブが思っていた以上に手軽に購入できると岡本社長に伺い、個人的にもますます興味がわいてきました。炎を眺めながらお酒を飲んだり、本を読んだり。そんな贅沢な時間を、多くの方々にも味わっていただきたいです」